

事務事業名	子ども医療費助成事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5136				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	子育て支援課	課長名	石川 美奈子				
			所属担当	児童担当	担当者名	長澤 友和				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 02	目 01	細目 050	細々目 01
政策	計画体系	17 社会福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	体系	28 児童福祉の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	南アルプス市子ども医療費助成金支給条例					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 子どもにかかる医療費の一部を助成することにより、子どもを持つ家庭の経済的負担の軽減を図るとし、子どもの疾病の早期発見・早期治療を促進し、子どもの保健福祉の増進を図ることを目的とする。◎ 申請受付→受給者証交付→医療費助成 ・平成20年度から医療機関において窓口での自己負担分の支払いを無料化する。 ・平成21年度から対象年齢を拡大し、入院・通院ともに12歳の子ども(小学校6年生の年度末)までを対象とする。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 臨時職員賃金 1,426 消耗品費 30 印刷製本費 10 手数料 10,673 その他扶助(補助) 231,164 計 243,303						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 受給者証交付、県補助金事務(申請・実績報告)、対象年齢の拡大検討 27年度活動予定 受給者証交付、県補助金事務(申請・実績報告)、対象年齢の拡大検討	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 県補助金交付確定額 千円 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	満12歳到達後、最初の3月31日までの子ども(保護者)。	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 0歳から12歳までの子ども(保護者)の数 人 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	① 疾病を早めに治療でき、健康を維持できる。 ② 子育て家庭の経済的負担を和らげる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 受給資格者1人当たりの助成額(就学前) 千円 イ 受給資格者1人当たりの助成額(小学生) 千円 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	安心して子育てが出来る。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 安心して子育てができる環境があると回答した市民の割合 % イ

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円	55,138	52,466	53,226	49,313		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	219,059	204,550	190,077	196,682		
事業費計(A)		千円	274,197	257,016	243,303	245,995	0	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200		
		人件費計(B)	千円	5,461	5,461	5,461	5,461	0	0
(A)+(B)		千円	279,658	262,477	248,764	251,456	0	0	
活動指標	ア イ ウ	千円	54,755.0	54,755.0	53,226.0				
対象指標	ア イ ウ	人	8,800.0	8,700.0					
成果指標	ア イ ウ	千円	22.0	22.0					
	イ ウ	千円	31.0	31.0					
上位成果指標	ア イ	%	42.2	40.6	41.1				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	乳幼児の健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減を目的とし、合併時から旧6町村で実施していた乳幼児医療費助成制度を引き継いで実施している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	景気の低迷や就業率の低下等により、経済的負担の軽減や子育て支援対策の充実に対する要望が大きくなってきている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	対象年齢拡大の要望が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H20年度から窓口無料化を実施。 H21年度より対象年齢を未就学児から12歳(小学校6年生)まで拡大。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	中学3年生までの対象拡大について、甲府市・甲斐市・中央市・昭和町と合同で検討を始めた。

事務事業名	子ども医療費助成事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民の子育て支援に対する要望に応え、安心して子育てが出来る環境づくりの一端を担っているため。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市内の児童が対象になるため、公費による助成が適当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 対象年齢の拡大(中学3年生生まで)については強い要望があるため、引き続き検討する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 中学生まで対象年齢をかくだいすることになれば、対象者が増加するため成果向上は図られる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 子育ての家庭の経済的負担が大きくなるため、サービスの低下につながる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市民が安心して子育てをすることが出来なくなるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 制度で定められた医療費に対する助成のため、基本的には事業費の削減は難しい。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状でも臨時職員により一部業務を担当してもらっているため、人件費を削減することは困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 対象年齢内の子どもの保護者は、制度を利用することが出来るため。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	中学校3年生生までの助成対象拡大の要望は多く、甲府市をはじめ県内で小学校6年生生までを助成対象としている市町が合同で検討会を開始した。 最終的には助成対象の拡大になると思われるが、これにより医療費の大幅な増額が懸念されるため、助成方法の在り方が課題となっている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 時代の流れで中学校3年生生までの助成拡大はやむを得ないものとする。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 制度改正の周知、システム改修などを考えると担当としては新年度当初からの切替えが好ましいと考える。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	①																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	①																					